

1 単元名 古文に描かれた人物の心情を読み取ろう

2 単元目標

- (1) 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。
(関心・意欲・態度)
- (2) 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。
(読む能力)
- (3) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解する。
(知識・理解)

3 取り上げる言語活動と教材

- (1) 言語活動 古典を現代語の物語に書き換えること。
- (2) 教材 「筒井筒」(『伊勢物語』)

4 具体的な評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古文に描かれた人物について表現に即して読み取り、心情を捉える手掛かりにしようとしている。	古文に描かれた人物について表現に即して読み取り、心情を捉える手掛かりにしている。	古文を読むことに必要な文語のきまりや語句の意味・用法を理解している。

5 指導と評価の計画（全6時間 本時は4時間目）

次	具体的な評価規準と評価方法	学習活動
1 (2時間)	<p>【評価規準】知識・理解 古文を読むことに必要な文語のきまりや語句の意味・用法を理解している。</p> <p>【評価方法】 「記述の点検」</p>	<p>○古文を読むことに必要な知識を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 単元目標を理解した上で、学習の見通しを持つ。 ② 分からない言葉について個人で調べる。 ③ 接続助詞について説明を聞く。 ④ 2人組になり、接続助詞について理解したことを相互に説明し(1人2分)、わからないことがあれば相手に質問する。 ⑤ 接続助詞の意味・用法を用いて古文を現代語に訳す。 ⑥ 現代語訳を書いたノートを提出する。
2 (2時間)	<p>【評価規準】読む能力 古文に描かれた人物について表現に即して読み取り、心情を捉える手掛かりにしている。</p> <p>【評価方法】 「記述の分析」</p>	<p>○文章の表現に即して人物の心情を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現代語訳を確認する。 ② 当時の結婚形態についての説明を聞く。 ③ 「さて、年ごろ」から「河内へも行かずなりにけり」までを、「男」の視点に立った現代語の物語に書き換える。 ④ 文章を人物の心情がわかるように、心の中の声を明確に表現して、現代語の物語を作成する。 ⑤ 4人グループに分かれる。 ⑥ 作成した物語を読み合い、「男」の心の中の声について、それぞれの共通点や相違点について確認し、意見を交換する。 ⑦ 「男」が「限りなくかなし」と思った理由を作成した物語を用いて話し合い、文章にまとめる。
3 ()	<p>【評価規準】関心・意欲・態度 古文に描かれた人物について</p>	<p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「もとの女」「河内の女」の心情を、それぞれ

2 時間 ()	表現に即して読み取り、心情を捉える手掛かりにしようとしている。 【評価方法】 「記述の分析」	れ和歌などを手掛かりにして捉え、文章にまとめる。 ② 4人グループに分かれて相互に評価し合う。 ③ 評価を参考にして自分の読み取った内容を振り返る。 ④ 文章に描かれた人物の心情を巧みに表現していると思われる部分を取り上げて、その人物の心情について自分の考えを文章にまとめる。
----------------	--	---

※ 「次」は、学習のまとまりを示している。本単元は、6時間（各次2時間）の配当を想定している。生徒の実態に即して計画を立てる。

6 本時の学習展開（2次の2時間目）

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導 入 (4分)	前時までの学習を振り返り、本時の目標を確認する。	・ 前時に書かせた現代語の物語を読ませて前時の学習を確認させる。	
	目標 文章の表現を手掛かりにして「男」の心情の変化を読み取る。		
展 開 (42分)	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">ペアワーク</div> ① 4人グループに分かれる。 ② グループの中で2人組を作り、作成した物語を互いに読む。 ③ 「男」の心の中の声について、作成した物語のように書いた理由を説明し合い、共通点や相違点について確認し意見を交換する。	・ 座席の配置を基準にして、4人組を作らせる。4人に満たない組ができた場合は、3人組又は5人組とする。(3分) ・ グループの中で2人組（場合によっては3人組）を作らせ、作成した物語を交換させる。(2分) ・ 他者が作成した物語を読ませる。読む時間を2分とする。(2分) ・ 説明を2分ずつ行い、質問や意見交換を4分で行う。(8分) ・ グループ内で相手を変えて②③の学習活動を行わせる。(10分)	
	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">個別</div> ④ 他者の作品や意見交換を参考に「男」の心の中の声について再考する。	・ 作成した物語の「男」の心の中の声について自己評価させる。書き換える必要があれば赤字で書き換えさせる。(5分)	
	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">グループワーク</div> ⑤ 4人グループで作成した物語を用いて「男」が「限りなくかなし」と思った理由について話し合う。	・ 話し合ったことを参考にして、自分の考えをまとめることを知らせる。 ・ 話し合いの時間は6分とする。(6分)	
	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">個別</div> ⑥ 話し合ったことを参考にして自分の考えをまとめる。	・ 「男」が「限りなくかなし」と思った理由を文章にまとめさせる。(6分)	記述の点検 (提出されたワークシート)

まとめ (4分)	本時の学習を振り返るとともに次時の学習の見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の表現を手掛かりにして、文章に書かれていない人物の心情が読み取れることを確認させる。 ・ 文章にまとめたことを発表させる(生徒氏名)。 ・ 次時においては「男」以外の人物の心情を読み取れることを予告する。 	
-------------	-----------------------------	--	--

7 本時の学習の評価規準

古文に描かれた人物について表現に即して読み取り、心情を捉える手掛かりにしている。(読む能力)

※ 本時の評価(「記述の点検」)は、次のとおりに行う。

- 十分満足できる (A) … 文章の表現を手掛かりにして、「男」の心情の変化を捉えているとともに、「もとの女」に対して疑いを強めたことが、かえって「かなし」という思いを強めていることに気付いている。
- 概ね満足できる (B) … 文章の表現を手掛かりにしなが、「男」の心情の変化を捉えている。
- 努力を要する (C) … 文章の表現を手掛かりにして、「男」の心情を捉えていない。

○文章の表現に即して人物の心情を読み取る。―『伊勢物語』（筒井簡）―

組 番 氏名

☆ 「さて、年ごろ」から「河内へも行かずなりにけり」までを、「男」の視点に立った現代語の物語に書き換えよう。
《人物の心の中の声を明確に表現しよう。》

--

〈意見交換メモ〉

※ () さんの「心の中の声」について気付いたことや質問など。

※ () さんからの自分の作品に対する意見など。

※ () さんの「心の中の声」について気付いたことや質問など。

※ () さんからの自分の作品に対する意見など。

【自己評価】

【「男」が「限りなくなし」と思った理由】

※ グループでの意見（メモ）

※ 自分の考え

--	--